

# 泉会

## IZUMIKAI

2008 No.25

◆発行日◆2008年10月25日

東洋大学工学部建築学科同窓会会報「泉会」

題字：故 平山高先生

<http://www.izumikai.info>

### 発足 25 周年を記念する集いが開催される！



■ 会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

■ 今年は、発足から 25 年が経過したことをお祝いし、6 月 14 日（土）白山校舎のスカイホールにおいて「泉会」25 周年記念の集いが開催されました。

■ 当日は、1 期から 43 期までの卒業生、在校生、来賓の先生方総勢約 140 人

の出席があり、過去最大の賑わいのある集まりとなりました。そして、定期総会の後の武部實氏（1 期生）の記念公演、記念パーティーが役員の方々の綿密な計画により、滞りなく終わることができましたことに感謝申し上げます。卒業以来初めて顔を合せた卒業生や恩師もあり、話しは尽きることなく 2 次会、3 次会へと続いた楽しい一夜となりました。

■ 来年より工学部は「理工学部」に再編されることになり、建築学科も変革が求められているようです。従って、これからは今まで以上に卒業生からの支援が必要とされると思われますので、定期的に今回のようなイベントを開催されることを願います。

飯吉 伸一（初代会長 1 期生）

目次	会長挨拶	2	トピックス	17
	「泉会本部」からのお知らせ	3	支部だより	21
	寄附講座	8	同窓生だより	22
	「泉会」創立25周年の集い	10	「泉会」役員組織図	26
	同期会報告	16		



会員の皆様にはお元気でご活躍のことと存じます。  
皆様ご承知のとおり、昭和 57 年に東洋大学工学部建築学科設立 20 周年を機に建築学科同窓会「泉会」が発足し、25 年が経過しました。初代会長の飯吉伸一(1期)先輩他多数の先輩諸氏の発起の下、去る 6 月 14 日(土)「「泉会」25 周年記念の集い」が白山校舎スカイホールにて盛大に行われました。記念パーティーに先立ち、武部 實(1期)先輩に「わが人生を語る」という演題で記念講演を行って頂きました。今回の会報はこれらの内容を中心に会員の皆様にご紹介をさせていただきます。

今年度の活動計画及び予算、「泉会」会則改正は同日行われた定期総会によってご承認頂きました。又、一昨年発足した工学部同窓会「工学部連合育成会」の活動報告をさせて頂き「泉会」との連携についてもご理解を頂くことが出来ました。

今年度は昨年に引き続き、現役学生支援のためのイベントの企画実施を積極的に図っていきたいと思います。さらに今後の活動の中で東洋大学の OB が主催する各関連団体〔異業種交流会(会長 木村喜代司 様) プロネット(会長 長谷部 浩 様) 不動産建設白山会(会長 後藤 節 様)〕との連携、情報交換等も進めていきたいと考えております。

さて、今年の 4 月に東洋大学「5つの改革」が発表されその一つとして工学部を発展的に再編し、来年度より「理工学部」に改め、生体医工学科の新設や学科の再編が行われることになっております。また、新たに総合情報学部が川越キャンパスに設置されます。建築学科は存続致しますが、所属学科のカリキュラムを軸に副専攻となる「学科横断型特別教育プログラム」の発足等工学部は大きく変わろうとしています。

今まで「泉会」の発展、活動が継続出来たのは、松下准教授をはじめ当大学建築学科出身の教職員の方々に支えられてきた結果と言っても過言ではありません。近い将来、これらの方々が退官されていく中で「泉会」をどの様な形で継続していく事が望ましいのかがこれからの大きな課題となっております。

昨年度「泉会」活動計画の中で実施したホームページの改編により、タイムリーな活動報告や全国各地に在籍する会員相互間の積極的な交流を促すことが出来る様になりました。

ただしインターネットを利用した様々な迷惑行為から守るために会員はホームページより簡単なユーザー登録をしていただく事になっています。

このホームページを利用し、是非皆様からのご意見や感想をお寄せいただければ幸いです。

## ■ホームページの活用について

26期 長谷部 勉

URL : <http://www.izumikai.info/>

当会のホームページはリアルな活動を補填し全国各地に在籍する会員相互間の積極的な交流を促すことを目的としています。

今回のリニューアルにより、会員がブラウザから簡単にかつ迅速にサイトに投稿したり編集したりすることが出来る様に、WEBコンテンツを構成するテキストや画像等のレイアウト情報などを一元的に保存・管理するシステムを構築いたしました。

会員はホームページよりユーザー登録することにより、記事の追加機能が利用出来ます。

また、インターネットを利用した様々な迷惑行為からホームページを守り、安心して情報交換が出来る様に、コンテンツと編集権限を下記の通り見直しています。

一般ユーザーに登録すると下記の追加・更新権限が有効になります。

・同窓生だより ・会員作品 ・学生相談の「回答」

※支部ユーザーに登録すると上記の他に「支部だより」を追加・更新出来ます。

その他未登録ユーザー(ログインしていない状態)が記事を追加出来るページもあります。

・会員交流 ・リンク ・学生相談

会員の皆様には、是非登録いただき、積極的なご利用をお願いいたします。

# 「泉会本部」からのお知らせ

## 1. 平成 19 年度年間活動内容一覧

月	工学部(建築学科)「泉会」関連行事	泉会行事、会場、業務活動等
4	新入生オリエンテーション 4/04・05・07、入学式(4月入学) 4/06 授業開始 4/10「泉会」寄附講座開始：水曜日 13回(補講含む)(4月～7月)	◇拡大三役会 4/5(木) 於：工学部(幹事会準備) ・新入生オリエンテーション会長祝辞 ・準会員費集金及び記念品(三角カール)贈呈(役員・学内幹事)178名 ●「泉会」寄附講座開始 ◇拡大三役会 4/28(木) 於：岩堀建設工業㈱(幹事会準備) *名簿整備(総会発送用)
5		◇三役会 5/10(土) PM 7:00～ 於：岩堀建設工業㈱ *幹事会・支部交流会・同期会案内状印刷・発送→5/8→返信締切 6/5 *4年生終身会費納入のお願い(各研究室、ゼミ長会議等)
6	学祖祭 6/06	・「育成会」代議員大会に参加 6/3(長谷部浩、長峰、松下、中村、細谷) ◇三役会→6/8、PM 7:00～ 於：岩堀建設工業㈱ ・神奈川支部総会 会長参加：6/10 ○幹事会・支部交流会 6/16(土) 14:00～ 於：白山校舎第2会議室(3号館2階)、懇親会及び2, 12, 22, 32期同期会 17:00～ 於：白山校舎第2会議室(3号館2階) *会報編集委員会発足 *会報原稿依頼 *広告依頼
7	研究室対抗ソフトボール大会	*会報編集委員会 7/9 於：岩堀建設工業㈱ ・第10回「泉会杯」争奪研究室対抗ソフトボール大会(準会員支援) 優勝：勝瀬研究室 ・建築学科卒業制作展示会(川越スカラ座：7/15, 16) ・建築学科まちかど講評会参加(7/15, 16)
8	夏休み 8/06～9/29	*会報編集委員会 8/1 於：岩堀建設工業㈱ ◇三役会→8/20、PM 7:00～ 於：岩堀建設工業㈱(会報関係) ・徳島支部総会 会長参加：8/13, 14
9	9月卒業式 9/25	*会報編集委員会 9/10 PM 7:00～ 於：岩堀建設工業㈱(会報関係) 会報印刷依頼 会報発送 *総会案内、育成会大会案内・会報発送作業
10	秋学期授業開始 10/1	◇三役会→10/23、PM 7:00～ 於：岩堀建設工業㈱(特別企画他)
11	工学祭 11/02～11/04	◎総会：11/4(日) 川越校舎 定期総会(11:00～) ・工学部連合育成会大会・講演会・合同交流会(13:30～) (19年度は、工学部連合育成会の大会に併せて、「泉会」総会を開催した。しかし、委任状を含めた参加者が規定の人数に達しなかったため、会則の改正の決議については次年度の総会に繰り越すこととなった。)
12	OB企業経営者懇談会(工技研主催)	・建築パーティー(準会員支援) ・現場見学(準会員支援)学内建設現場見学 ・企画イベント(OBによる就職ガイダンス) 12/22(土) PM 2:00(準会員支援)
1	授業再開 1/04(金)	平成 20 年度寄附講座講師選考
2	春休み 2/01～3/31	◇三役会→2/16、PM 7:00～ 於：川越校舎(泉会賞関係) ・卒計・卒論発表会：2/16、泉会賞選考(準会員支援) 平成 19 年度「泉会」卒業設計賞 イエンロカ(篠崎研) テーマ：有形⇔無形 平成 19 年度「泉会」卒業論文賞 寺門あすか(浦江研) テーマ：女性建築技術者の意識調査に関する研究
3	卒業式 3/23(日)	・卒業式にて会長祝辞、記念品贈呈、泉会賞授与(準会員支援) 卒業記念品：図書カード(1年生の学内建物スケッチをデザイン：坂本裕果さん) 連合育成会終身会費と「泉会」の終身会費を集金(91.6%)

## 2. 平成 20 年度年間活動計画

月	工学部(建築学科)「泉会」関連行事	泉会行事、会場、業務活動等
4	新入生オリエンテーション 4/03・04・05、入学式(4月入学) 4/06 授業開始 4/7 「泉会」寄附講座開始：水曜日 13回(4月～7月)	◇拡大三役会 4/4(金) 於：工学部(幹事会準備) ・新入生オリエンテーション会長祝辞 ・準会員費集金及び記念品(三角ｽﾀｰﾙ)贈呈(役員・学内幹事) 146名 ●「泉会」寄附講座開始 ◇三役会 4/18(金) PM 7:00～ 於：岩堀建設工業㈱ ・25周年記念事業の素案作成、総会準備
5		*4年生終身会費納入のお願い(各研究室、ゼミ長会議等) ・幹事会・25周年記念総会 案内状印刷・発送→5/23→返信締切 6/3 *名簿整備(総会発送用) ◇三役会→5/13(火) PM 7:00～ 於：岩堀建設工業㈱ ○幹事会 5/18(日) AM 10:00～ 於：川越校舎
6	学祖祭 6/06	◇三役会→6/3、PM 16:00～ 於：白山校舎 25周年記念の集い準備 ○「泉会」25周年記念の集い 6/14(土) 11:30～ 於：白山校舎2号館16階スカイホール 支部交流会、総会、記念講演、記念パーティー、幹事期同期会 3,13,23,33期、研究室OB会 他・神奈川支部総会：6/15(日) *会報編集委員会発足 *会報原稿依頼 *広告依頼 ・「育成会」代議員大会に参加予定 6/9(月) 於：川越東武ホテル ・育成会大会・講演会・合同交流会：6/28(土) 於：川越校舎 13時～
7	研究室対抗ソフトボール大会(7/〇～7/〇) 第1回新入生歓迎建築パーティー	*会報編集委員会 7/〇 於：岩堀建設工業㈱ ・第11回「泉会杯」争奪研究室対抗ソフトボール大会(準会員支援) ・建築学科まちかど講習会(場所： 、日程： )
8	夏休み 8/06～9/29	*会報編集委員会 8/〇 於：岩堀建設工業㈱ ◇三役会→8/〇、PM 7:00～ 於：〇〇〇(会報関係) ・徳島支部総会 8/〇
9	9月卒業式 9/25	*会報編集委員会 会報印刷依頼 会報発送
10	秋学期授業開始 10/1	◇三役会→10/〇、PM :00～ 於：〇〇〇(特別企画他)
11	工学祭 11/01～11/03	
12	冬休み 12/22～1/03 第2回新入生歓迎建築パーティー	・建築パーティー(準会員支援) ・現場見学(準会員支援) ・企画イベント(OBによる就職がっす) 12/20(土) PM 2:00(準会員支援)
1	授業再開 1/5	平成 21 年度寄附講座講師選考
2	春休み 2/01～3/31	◇三役会→〇/〇、PM 7:00～ 於：〇〇〇(就職がっす、泉会賞関係) ・卒計・卒論発表会：〇/〇、泉会賞選考(準会員支援)
3	卒業式 3/23	・卒業式にて会長祝辞、記念品贈呈、泉会賞授与(準会員支援)

### ■ 主な事業活動項目と担当者

事業活動項目	担当者	
	担当役員	学内幹事
・泉会賞選考・授与	長峰勝芳	全員
・新入生オリエンテーション	全員	松下吉男、宇治康直
・就職ガイダンス+懇親会	全員	藤井弘義、永峯 章
・幹事会	全員	浅井賢治、宇治康直
・定期総会・支部交流・懇親会	全員	勝瀬義仁、宇治康直
・広報・企画(会報『泉会』等)	長峰勝芳、中村純三 鶴田謙一郎、池田麗子	永峯 章
・組織強化	長峰勝芳、中村純三	藤井弘義、永峯 章、浅井賢治
・財務	松下吉男、宇治康直	
・HP維持管理	長谷部 勉	長野憲義
・名簿の更新	松下吉男、坂巻 哲	宇治康直
・寄附講座	長峰勝芳	藤井弘義

#### 第 14 期役員選任について

ご承知の通り、「泉会」は1期2年のサイクルで役員の変更を行っております。現在13期(平成19年度～20年度)が進行中ですが、来年度から第14期(平成21年度～22年度)が開始いたします。役員構成は会則10条により、会長1名、副会長4名、財務2名及び各期から幹事1名以上2名以下、監査2名、顧問若干名となっております。会長、副会長、財務は新年度幹事より、前年度幹事が選任することになっております(11条)。つきましては第14期幹事の選出をお願いするとともに臨時幹事会を平成20年12月20日(土)に行いたいと思います。当日は、建築学科3年生を対象とした就職セミナーと懇親会を同時開催する予定です。各期の幹事は新幹事を選任の上ご出席ください。後日ご案内状を発送いたします。

### 3. 定期総会

平成20年度定期総会は、6月14日（土）「泉会」創立25周年の集いのイベントに先立ち、12時30分より白山校舎2号館16階スカイホールにて、約80名の参加のもと実施されました。司会の中村純三副会長（9期）により総会の成立が報告され、長峰勝芳会長（9期）の挨拶に引き続き、桑野進幹事（1期）が議長に選出され議事の進行を行いました。議題については下記のとおりです。

- (1) 平成19年度活動報告                      (2) 平成19年度会計報告
- (3) 平成20年度活動計画（案）            (4) 平成20年度予算（案）
- (5) 工学部同窓会「工学部連合育成会」について
  - ①役員選出            ②19年度パンフレット
- (6) 「泉会」会則改正について
- (7) その他
  - ①寄附講座について    ②ホームページについて    ③役員組織図    ④その他

会長挨拶の中で、建築学科同窓会「泉会」が創立25周年を迎えることと平成21年度から工学部が理工学部へ改組される中で「泉会」は今後も活動を継続する点が強調されました。平成20年度活動計画（案）、及び予算（案）では、創立25周年記念の集いを目玉として位置付けており、約200万円の赤字になることが承認されました。

工学部同窓会「工学部連合育成会」の活動の現状と第2期（平成20年～21年）役員選出が行われ、「泉会」からは理事として、長谷部浩（1期）、松下吉男（7期）、長峰勝芳（9期）中村純三（9期）及び細谷功（11期）の各氏が選出されました。尚、「泉会」会長が変更した場合、現会長に代わって新会長が理事に就任する。また、連合育成会に関する事項が追加された点が会則改正の要点であり、審議の結果提案どおり承認されました（ホームページに掲載）。寄附講座についてはホームページに掲載されている通りです。ホームページが新しくなり、その活用方法が2ページに記載されていますのでご参照ください。

その他として、会場より同窓会活動に若手の参加が少ないとの指摘があり、魅力作りに対する活発な意見交換が行われ、横のつながりを持つことなど、コミュニケーションの重要性の再確認と今後の各自の努力を誓い合いました。会員の皆様のご意見をお待ちしています。尚、会員とは何かとの質問がありましたが、会則にも謳ってあり、卒業生は全て正会員であり（在学生会は準会員）、会費納入者のみが正会員ではない点をご認識いただきたいと思います。尚、従来会報は会費納入者のみに発送しておりますが、次年度同期会（卒業10、20、30、40周年を迎える期）の卒業生には全員送付しております。来年度は14、24、34、44期になります。今後とも「連合育成会」共々「泉会」の活動にご協力下さいますようお願いいたします。（事務局）



## 4. 支部交流会

支部交流会に参加して

福岡支部 古賀 英雄（3期）

私「支部交流会」に参加するのは、今回で2回目です。

前回は、1994年に本部及び各支部の皆様と初めて顔を合せ、支部育成と運営についての御指導を頂きました。

また、叱咤激励の内に気力が高まり、支部が活発化していくように、努力していこうと決意しました。

ところが、世の中は、バブル崩壊後の余波として、リストラ・会社倒産等で社会に大波が押し寄せてきました。

私自身、会社に勤める身、会社の方針に沿って遂行に努力していた自分自身を思い起こします。

今となって、当時、自分自身が何か理由をつけて、支部活動が出来ない要因は、多忙であったと遠まわしに逃げていたのではないのかと、深く反省しています。

今回、（平成20年度）支部交流会に参加するにあたっては、今までの支部活動が活発でなかった事をうけて、事務局の井出氏と相談し、今からでも福岡支部を盛り立てて行こうという決意で参加しました。

本部・各支部の紹介の後、各支部が発表する19年度活動報告・20年度活動計画の内容は、苦勞と汗の内に、楽しさと爽やかさが感じられ、うまく実践・計画されているなあ…と、教えられました。

特に、徳島支部の方から参考資料を頂いた事の感謝と、松下先生から福岡支部最新の会員名簿を送って頂き有難うございました。この場をかりてお礼申し上げます。

最後に、泉会25周年おめでとうございます。

人生で言えば結婚25周年で銀婚式、益々のご発展を祈っています。



## 5. 新任教員紹介

### ◆宇治康直 助手

平成20年に新たに着任いたしました、宇治康直です。

大学院在籍中は、アルミニウム建築の技術的課題に関する研究に取り組んでおり、またコンペティション等に積極的に参加しておりました。現在取り組んでいる具体的なテーマは、住宅リフォーム活動及び産業に関する分析です。また、学外活動としてNPOに参加し、歴史的建造物の活用など、地域の活力にかかわる生活環境の問題に対して、その問題のあり方を探り、多分野のメンバーの能力を結集して建設的な提案を行っております。

自分自身、いろいろなことを幅広く、深く、そして真剣に経験することが大切であると、そしてその豊富な経験が建築を設計する際にきっと役立つであろうと考えております。

「ひとつのことを愛し続ける能力を才能と呼ぶ」ということばがありますが、ひとつのことを長くやり続けていくことが、自分ならではのかたちというものをつくっていくのだと思い、日々取り組んでおります。

皆様どうぞよろしく願いいたします。また、卒業生の皆様のお力を借りる機会があることと思っておりますが、その際もよろしく願いいたします。

担当科目：構法・生産設計演習Ⅰ、建築プロジェクトマネジメント演習  
都市・建築企画設計演習、建築設計、総合設計演習



## 6. 建築パーティー

### 建築パーティーについて

2年 長谷川陵介



7月18日、「2008春学期建築パーティー」が開催されました。毎年、建築学科2年が主催するパーティーで、今年は僕が代表を務めさせて頂きました。代表を務める上でまず苦労したのは、スタッフ集めでした。思ったより人数が集まらなく、友達を誘い、友達の友達を誘いとやっとの思いで十分な人数を集める事が出来ました。次に苦労したのは、招待するゲストの方を確定させる

事でした。パーティー当日まであまり時間もない状況でのアポ取りは困難を極め、正直ゲストが決まらないのではと思いましたが、工藤先生の御協力や御本人様の御好意もあり、建築家「トラフ 鈴野浩一」氏にお越し頂く事となり、スタッフ一同安心したと共に、若手の方にお越し頂きたいと願っていたので、喜びの気持ちもありました。そして、パーティー当日では、想定外の事が起きたり、想定内の事であっても上手く動けなかったりと、問題点はいくつもありませんでしたが、無事にパーティーを終える事が出来たので良かったです。今回、生まれて初めて学生だけで何かを開催するという事にチャレンジしましたが、非常に貴重な経験をする事出来て幸せだと思います。秋学期建築パーティーでは、今回の反省を活かし、スタッフみんなで力を合わせより良いパーティーにしたいと思います。同窓会からの御支援ありがとうございました。

寄附講座 H 20 年度版 (2008 年) 産学協同実習 A 水曜日 14 : 50 - 16 : 20 1301 番教室

月 日	ジャンル	テーマ	概 要	担当者
0		ガイダンス	この講座位置づけ及び単位について	藤 井
1	模型製作	模型の製作/ニック	建築の模型とは? 実施例を紹介しながら、大学の課題で使える模型の製作テクニックを伝授します。	茂呂大輔
2	川越の町並み	コンサルタントって何だろう	住環境整備の事例や川越のまちづくりNPO組織の取り組みなどを紹介し、まちづくりにおけるコンサルタントの役割を説明。	秋山修志
3	行 政	かわぐちのまちづくり	JR川口駅周辺は現在再開発事業がほぼ完了し、生まれ変わりました。市全体のまちづくりの基に築かれたものです。まちづくりに関するお話します。	小林孝浩
4	企画計画	民間手法のまちづくりと現場監督のごと	「地区計画」という民間手法のまちづくりをご紹介します。	中路孝子
5	実務設計	いろいろな建築	現場監督の仕事ってなに???	伊藤麻理
6	音響計画	建築環境工学・音と響きの世界	建築の『発想』『スタイル』等を実作品、実施コンペ案を中心に紹介	末永義明
7	インテリア計画	店舗再生に当たって	店舗の再生計画にあたり、その業種をいかにアピールするか内部の完成度を上げるために計画・施工両面を見つめていけるかが勝負	伊藤 良
8	施工管理	建設業の展覧と施工管理のあり方	現在建設業は大変厳しい状況におかれておりますが努力だけでは明るく出来る。又施工管理は日々技術の研鑽である。	長島達夫
9	設備施工	意外と身近な設備業界	設備の概要、役割、また実際の業務等についてスライドなどで紹介します。	榊原久美子
10	設計計画	組織設計事務所の仕事について	多くの人が在籍する組織設計事務所はどんなところで、どのような仕事をしているのか。担当したプロジェクトを中心に仕事内容について紹介します。	馬場崇容
11	構評価・基準法	新しい建築技術はどの様にして生まれるか	新しい建築技術・材料を用いた建築物はどの様なプロセスを通して建設されていくかを紹介します。また、技術の進歩・まちの変化等に応じて変貌する建築基準法の概要と現状について紹介します。	井手幸人
12	ビルマネジメン	ビルマネジメンって何をするの	建物は建てられて終わりじゃない! 今存在している建物の管理、特にオフィスのビルマネジメンについてわかりやすく紹介します。	林 寛之
13	学内の活動	学校における課外活動の楽しさ/講義の大切さ	設計の授業はいろいろなものがありますが、自分の作った作品を学外に持ち出し、市民の方や参加者にプレゼンテーションショーをする楽しさや、展示会の面白さを紹介します。	中村友子



---

## 寄附講座 講師コメント

---

産学協同実習A (2008/07/16)

### 「課外授業の楽しさ」の講演を終えて

38期 中村友子

私は泉会寄附講座で「課外授業の楽しさ」をテーマに講演をしました。内容は助手の時に学生と一緒に取り組んだ川越の「まちかど講評会」や朝霞の「まちづくり提案展」、卒業設計の「卒業設計展」の話をしました。展示会を一から手作りで作り上げるのは大変だけれども、そこで得られる協力心や積極性の重要性を学び、何より市民や一般の方にアピールすることは社会にむけて大きな第一歩になることを伝え、学生は目をきらきらさせて真剣に聞いてくれたのを感じました。将来の進路に向けて少しでも学生生活を充実したものに、自分に合った道を進んでほしいと思います。

#### 寄附講座風景



◀講座が始まるのを待っている風景です。2年生の多くの学生が受講しました。



◀社会で活躍している現場の話を実際に聞いています。

---

## H21年度「泉会」による寄附講座講師募集

---

泉会会員の皆様各位へ

いつも建築学科の在校生（準会員）のために、いろいろとお骨折りをいただきましてありがとうございます。

例年建築学科のカリキュラムに「産学協同実習A」の科目が設けられており、東洋大学工学部建築学科の卒業生による卒業後の仕事に関することについて講演して頂く機会を設けております。

ぜひ皆様の卒業後の仕事について、その内容や大切な仕事への考え方を学生向けに講演をして頂ければ幸いです。

御講演を是非行ってみたいとの方がおいでしたらご連絡をお待ちしております。（尚、毎年度産学協同実習Aは用意されております）

応募者等多数の場合は、項目毎に決めさせていただきます。

記

対象者：主に2年生

講演日時：H21年4月～7月 各水曜日 14時50～16時20（90分）

講演方法：パワーポイントを使用（仕事の内容等）

講演場所：工学部内1301教室

講演内容：行政・設計・施工・インテリア・不動産・材料メーカー・住宅メーカー等

連絡先：東洋大学工学部建築学科

藤井弘義 049-239-1424 E-mail: fujii@eng.toyo.ac.jp

## 「泉会」創立 25 周年の集い（特集）

### 1. 概要

「泉会」創立 25 周年記念の講演とパーティーが、6 月 14 日（土）、白山校舎 16 階スカイホールにて盛大に挙行されました。参加者は卒業生が 110 名余、ご来賓と特別会員（退職教員と現任教員）10 名と現役学生が 20 名参加しました。

当日は、11 時 30 分から支部交流会が行われ、福岡支部、岡山支部、徳島支部、神奈川支部などが参加しました。12 時 30 分から定期総会が行われ活発な意見交換が行われました（別記参照）。

14 時 30 分からは 1 期生の武部實氏による「わが人生を語る」と題した講演が、7 期の高橋儀平氏の司会のもと行われ、武部氏のこれまでのご苦労とその栄光の物語には、多くの参加者が感動いたしました。

16 時を少し回り、司会の 18 期・高杉雄一氏の発声によって記念パーティーが開宴いたしました。9 期・長峰勝芳会長の開宴の辞、建築学科主任の秋山哲一教授の祝辞、初代会長飯吉伸一氏の挨拶と乾杯に続いてサプライズ、マジシャン c o Z m o 氏が登場、各テーブルでマジックを行い会場は一層の盛り上がりを見せました。特に抽選会では総額 10 万円が 21 名に当るというおまけ付きの豪華なパーティーとなりました。続いてご来賓の工学部連合育成会会長熊井文孝氏（土木工学科 1 期生）による祝辞と連合育成会の紹介がありました。その後の集合写真では、卒業期毎、研究室毎など盛り上がりはピークに達し、2 期の長谷部浩氏の閉宴の辞で約 2 時間半の記念パーティーを終了し、それぞれ 2 次会の場所を求めて都内の盛り場に消えていきました。以下に武部實氏のプロフィールとそれぞれの写真をコメント付きで掲載します。

### 2. 記念講演

#### 武部實氏プロフィール

昭和18年11月12日 北海道室蘭市に生まれる

昭和37年 3 月 道立斜里高等学校卒業

昭和41年 3 月 東洋大学工学部建築学科卒業

昭和41年 4 月 1 日 東洋大学工学部建築学科助手就任

昭和44年 1 月31日 武部實一級建築士事務所開設

昭和45年 2 月 一級建築士事務所武部建築設計に名称変更

昭和47年 3 月 東洋大学退職

昭和47年 4 月 (株)武部建築設計に改組、代表取締役に就任

昭和48年 4 月 日本都市開発設計(株)代表取締役に就任（札幌市）

この間、道東事務所（北見市）設置、太陽企業(株)、(株)企画工房設立

平成10年11月 日本都市設計(株)に商号変更

この間、旭川事務所、帯広事務所設置

平成19年 6 月 日本都市設計(株)相談役に就任

#### 社会活動他

昭和54年より札幌市内の幼稚園、小学校、中学校PTA会長、札幌青年会議所副理事長などを歴任

平成10年 札幌芸術の森美術館が公共建築百選（建設省）に選定される

平成13年 技術者一人当たりの売上高全国設計事務所ランキング第2位（日経アーキテクチュア）

平成13年 ISO9001認証取得

平成15年 経営安定度全国設計事務所ランキング第5位（日経アーキテクチュア）

平成16年 札幌南ロータリークラブ会長

平成20年 北海道を愛するみんなの会副会長



司会者による武部氏のご紹介



講演される武部氏



会社発足時のエピソードを語る



人生論に熱が入る武部氏



会場の雰囲気も最高調



熱心に聴き入る参加者



遠路、ご苦労様です  
 受付に設置された「のんべい基金」は  
 総額〇〇〇円(?)になりました



会報史です  
 通路に掲載された初期の会報。  
 会場にはこれまでの全ての会報が展示された。



懇親会、盛り上がってます  
 左から松本氏(6期)、鈴木氏(7期)  
 秋山建築学科主任、松本氏(4期)



種も仕掛けもありません  
 マジシャン coZmo 氏の華麗なるテクニックに翻弄



この料理、イケル！  
 現役4年生も楽しそう。来年も参加してね。



元建築実験室勤務の来賓 入沢氏を囲む  
 38期同期生



たくさんご挨拶いただきました



1 期



2～6期



7 期



8～10期



11～20期



21～30期



31期～現役



素木 研



山崎 研



太田 研



前田 研・上杉 研



藤松 塾

## 泉会の隆盛は校友の親睦にあり

泉会 25 周年記念パーティーには三期生は福岡から古賀君が横浜から河野君と佐藤の 3 名という少ない参加となり、いささか寂しいなか古賀君は所用のため途中で帰宅したのでゆっくり話も出来ず仕舞いでした。同期会を暫く開催していないのでこの機会に大勢来てくれるのを秘かに期待していたのですが…。しかし、ご来場の多くの方達との久しぶりのアイボールは本当に嬉しい一時でした。折角の機会なのでもっと多くの方々とコミュニケーションをはかりたかったのですが残念ながら翌日の校友会神奈川県支部総会の準備の為に後ろ髪を引かれながら一次会のみで帰路につきました。皆さん機会があったらその折にはゆっくりお付き合いをお願いします。

恩師の前田先生と素木先生が相次いでご逝去されましたが両先生には泉会会長時に同窓会の意義について語りながら肩の力を抜いて頂き側面から支えていただきました。その時に「同窓会のベースは個々の多様な人の繋がりであり、その繋がりを組織化したもの」と悟り少しでも多くの人に接しようと努力してまいりました。63 歳となった今、多くの人に支えられながら泉会会長を 4 年間務めたことを機に何にも代え難い沢山の宝（友は宝）が得られたと思っています。

校友会も泉会も基本は親睦です。親睦を通じた情報交換で互いの発展と母校の発展に寄与出来ればと思っていますが、泉会神奈川県支部では校友会神奈川県支部との合同企画により人脈の拡大や情報交換に役立てていますのでそちらの方にも是非ご参加下さい。

終りに、皆様方のご健勝と益々のご活躍をそして泉会の隆盛を祈念して次の機会を心待ちにします。

3期・前田研 佐藤博美（校友会神奈川県支部支部長）

## 13 期生 5 人の集い

当期幹事の努力不足により、泉会総会、せっかくの記念講演も当期 4 人だけであった。しかし当日会場に行くまでは、ひとりだっただけありうるなあと想像していたので、まず同期を会場内で捜し青木昭二君、木田義文君、豊島章憲君が目に入り、ほっとし次に先生方や一期生からの良くお見かけする先輩方や、よく声を掛けてくださる先輩を見つけて、やっぱり来て良かったと。何より、一期 武部 實様の失敗談、自慢話も私達 OB の仕事に勇気と激励をしっかりと与えてくださり、重い足を運んだ甲斐（泉会の為に尽力していただいている役員や松下先生には申し訳ないですが！）があった。自分なりに仕事を通じ、ささやかでも、何かしらの評価で人前で自慢できたら、なんと気持ちがいいのだろうとひとときの空想に浸れたのはよかった。

私が声を掛けられる同期は、土曜仕事人間が多いらしい？私に人望も無くが正しいかも……。泉会の盛況のうちの散会后、新宿に繰り出し、緑川敏雄君が合流し、5 人の同窓会？となった。こちらも一期一会で大変盛り上がった。

会話の内容はすっかり忘れたが、元気はもらえたような。ちなみに青木君は施工会社の図面作成を行う会社で兵庫と関東を行き来、木田君は宮崎で設計事務所、豊島君はスパンクリートコーポレーション？コンクリート構造製品の会社、緑川君は大京で品質管理とか頑張っていますので、泉会ネットワーク活用の縁もよろしく。さいたま市でひとりのんびり設計事務所の見村 より（PS 是非 13 期の中で次の幹事どなたか引き受けて。古くて新しい出会い沢山あるよ。

13 期 見 村 光 明





---

## トピックス

---

浦 江 真 人

この度、2008年日本建築学会教育賞（教育貢献）を受賞しました。受賞対象となった業績は、『ロールプレイングによる建築プロジェクトマネジメント実習』です。この授業名は現在は、建築プロジェクトマネジメント演習ですが、旧カリキュラムでは、構法・生産演習、構法・生産設計演習でした。1996（平成8）年から3、4年生を対象として始めているので、受講して覚えている人もいます。これまでに授業で作った作品は、例えば、野外ステージの模型、安らぎロッカープロジェクトの模型、工学祭向けの顔パネル、こもれびの森の中に置くオブジェ、デコレーションケーキ、開口部の模型、部分空間の模型、セキスイハイムの鉄骨ユニットの外壁、製図室廊下の建具、などです。この授業の特徴は、建築生産のプロセスである、企画→基本設計→実施設計→施工の流れの中で、学生が、発注者（ユーザー）、設計者、施工者（ゼネコン、サブコン）などに分かれその役割を演じながら、モノを完成させるところです。それらの役割は、プロポーザル、コンペ、入札などによって決められ、学生はすべての役割を体験できるように工夫しています。そしてこの授業の意義は、その過程の中で、学生がそれぞれの役割と責任を経験し理解するところにあります。また、卒業後の就職先を考える場合の参考にもなります。これらが「生産・施工分野の新たな教育地平を切り開く意欲的で独創的な試みとして高く評価」された訳ですが、この授業に参加した学生達が結果を出してくれたからこそであり感謝する次第です。



今年度制作した建具と3階製図室廊下の様子

## トピックス

### 突然ですが・・・クラフトマン宣言！！

建築設計を続けてきた男が突然、「銅の植木鉢」を作り始めた。設計図などには従わず「手」の趣くままに銅の板と向かい合う。心をときめかせ銅板オブジェアートへの扉を開いた。

あと3年で還暦という年頭を前に、誓いを立てた。

もっと楽しいことを真剣にやろう！

自分に言い訳をしない！

我慢をしない！

残りの人生、喜々として続けられることをしよう！

何故こんな心境となったのかちょっと振り返ってみた。

#### 《下積みの時代》

建物を造り続けて35年。庭も作って35年。植物大好き設計士の趣味が高じて庭作りも続けてきた。

30代の頃…「あいつは庭が作りたくて住宅設計してるんじゃないのか…」とも言われた。家の真ん中に温室作って…パイパイ植えて…「パイパイ対面キッチン！」だとか、住宅には不釣り合いな大きなアトリウムを据えて、樹を植えて…「雨が降ってもバーベキュー出来る家」などと称して家の中に庭を造った。私自身、多摩動物園の蝶々の飛び交う大温室に棲み着きたいと本気で思っていた。

あの頃…当然ながら、設計屋の仕事仲間からはバカにされた。

「馬鹿だな…お前」

「家の中に庭作るなら、もう一部屋作ってやればいいじゃないか…」

#### 《光が射した時代》

90年代中頃に、ガーデニングブームが到来した。それまでも庭いじりを楽しむ人はたくさんいたのに不思議だった。TVでイングリッシュガーデンが特集され、ブームに火が付いたそうである。

とたんに私の廻りが変わりはじめた。ガーデニング番組のTV取材やゲスト出演。建築雑誌や婦人雑誌の取材。

「イヤー、面白いですネ。家の中に樹が生えて…オシャレですネ！」

「建築と庭作りと一緒にやっている建築家って珍しいですよ！」

人気ガーデナーの作例集にも掲載され、「日本のトップガーデナー24人」などという本にも取り上げられた。HNKの趣味の園芸のスポット講師のオファーまで来た。この時代、独自の造園論にて理論武装を整え、「ガーデナー建築家」として評価を戴いた。振り返れば「唯我独尊」。かなりの数の仕事をしてきた。

#### 《アレっと思う時代》

おもしろがって仕事をしてきた歩みが止まった。「何か違うな…」面白くない。

曲がりなりにもデザイナーとしての気概を身につけてしまっ



9期 勝田 無一

た不幸である。建築・造園のデザインは、自由奔放な「ものづくり」の立場からすると制約が多すぎる。

「あなたの作風が凄く好きなんです。自由にやって下さい！」…と言いながら自分の描くイメージを押しつける建築主。膨らみきった夢を詰め込むにはどうにもならぬ土地の条件。さらに、その土地に非情な制約を掛ける法規制。アヘアアどうしてこんな形になっちゃうの？と頭を抱え込む。設計が上がったところで予算との格闘。どんな魔法を使ってもまとまるわけがない難題を拝み倒して着工に漕ぎ着ける。そしてまた、大工さんも左官屋さんも決して思い通りに手を動かしてはくれない。

「もうちょっと…削ってくれよ」「聞いてねえよそんなこと！」で押し問答。

それでもこれはあの人がデザインした…と指を指される…不本意なこの仕事の常。デザイン以外の膨大な仕事をこなさないと形にはならない。俺はデザイナーなんだぞ！と心の中で叫びながら、ケツをまくったら終わりのよろずめごと引き受け屋の親切な設計屋を演じてきた。ずっとストレスを溜めていた。

風体は、にこやかに見えるらしいが本当は、チームプレーが嫌いなワガママ男なのである。ちっちゃいプライドと自惚れを捨てきれない限界が来てしまった。体力も落ちた。庭仕事は力仕事。人まかせに出来ない性分ではあるが故に、植木の穴掘りも敷石を据えるのも自力ではちょっと辛くなった。

#### 《お前…今頃気がついたの》

この数年、焼き物の鉢ではなく、身近に置いて毎日が楽しくなる面白い植木鉢を創りたいと考えていた。

東洋大の同期に、切り絵作家に転身した百鬼丸先生がいる。自由奔放であるが苦労人である。久々にゆっくり話す機会があり、ものづくり談義となり心情を話した。

「もっとストレートに…自分の感性だけで「もの」を作りたいんだよね」

「それっていい世界だよね！」

「うらやましいな…百鬼丸先生が。感性の世界で生きられて…」

「お前…今頃気がついたの？」

「それが作家っていうやつだよ」

「感性で生きる人のこと！…それはそれで大変だけども」

「好きにやればいいじゃないか！」

ちょっと背中を蹴飛ばされた気がした。そして自由奔放な「植物の器」作家が誕生した。

#### 《花開け！銅版◆植木鉢オブジェ作家》

没頭した8ヶ月の製作期間を経て、本年8月に原宿／アートインギャラリーにて2回の発表展示会を開催した。なかなかの好評！！

10月初旬には草月流若手クリエイターと花と器のコラボレーション展示会も開催予定。

定期開催の展示会も予定している。皆さん応援してやってください！！

URL：<http://homepage.2.nifty.com/sou-architect/index.htm>

事務所所在地：150-0001 東京都渋谷区神宮前4-25-3

事務所名称：有限会社 創設計 TEL：03-3408-8419

銅版植木鉢オブジェ製作工房：神奈川県川崎市宮前区



銅版◆植木鉢オブジェ 制作奮闘工房



---

## トピックス

---

### 独立して 20 年

14期 島村 芳三

大学卒業後、すぐにコンペを任せられました。小さい頃から様々な物や事を創造することが好きでしたから、苦とも思わず残業の日々でした。結果、大型コンペを通算1勝2敗。でもとりたかった静岡県立美術館の設計コンペをゲット。この仕事をやり遂げた後、イタリアに渡り再び勉強。帰国後、地元で設計事務所として独立。今は本業の設計を主軸に、地元大学でも教えています。イタリアでの経験が幅を広げてくれたのか、様々な活動が認められて、今年の静岡県文化奨励賞を頂きました。今までに APEC アーキテクトの称号を頂いたり最近全国でも有名になってきた大道芸ワールドカップなど、好きでやってきたことが認められ嬉しいかぎりです。

今年10月には大きな規模のストリートダンスフェスティバルも行ない、街づくりに貢献したいと考えています。



---

### 大学への感謝

23期 市川 健二

みなさん、こんにちは。

東洋大学工学部建築学科（23期）市川建治です。

埼玉県鶴ヶ島市役所の建築課に所属し、建築確認や市有建築物の営繕業務をしています。普段の仕事への思いは「安全で安心なまちをつくる」ことです。

さて、昨年、新潟県で発生した新潟県中越沖地震に応急危険度判定士として参加したときのことをお話します。

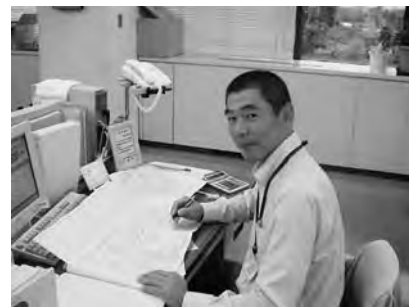
埼玉県から派遣の要請を受け、地震発生から3日目の早朝、バスで埼玉県を出発しました。柏崎市に到着したときに倒壊した家屋や道路の陥没などを目の当たりにして地震の恐ろしさ改めて痛感しました。

応急危険度判定は初めての経験でしたし、顔も知らない私に対して被害を受けた柏崎市民のみなさんは、どういう反応を私にするのだろうかという不安がありました。

そんな気持ちとは裏腹に柏崎市の人達は『ありがとう』の言葉を私にたくさんかけてくれました。その時に感じたのが「ひとに貢献できるって素晴らしい」「人に感謝されるって嬉しいな」という思いでした。こんな経験をできたのも、今、鶴ヶ島市役所で建築関係の仕事に携えるのも東洋大学で学んだことを活かしているからだと思えます。

この感謝の気持ちをどのようにしたら大学へ伝えることができるのか、鶴ヶ島市役所職員として何か大学に貢献できることはないか考えました。人に貢献する自分であること、人に感謝される自分であること、そして自分の人生にも突破を創りたくて来年度、寄付講座をやらせていただくことにしました。

講座の内容は決まっていますが大学に少しでも貢献できればと思っています。そして今後、東洋大学と鶴ヶ島市役所がタイアップして安全で安心なまちづくりに取り組んで行き、辛いときでも感謝の気持ちを言葉にできる。そんなまちづくりをしていきたいと思っています。



## トピックス

### ぐんま総合情報センター

32期 伊藤麻理

ぐんま総合情報センターは、県が東京都内のビル、デュープレックス銀座タワー5/13（中央区銀座5-13-1）の1、2階に開設するイベントや観光案内や県産品販売などのための施設です。

私たちは、銀座に群馬の『家』をつくりたいと考えました。

そこから、群馬のいろいろな景色がみえる、そういう家です。

私たちの言う景色とは、実際にその場所で行われていることであり、また、窓を通して見える群馬の風景だったり情報だったりします。

そして、それらの背景として、優しく気持ちのよい自然をプレゼント出来ればいいのではないかと考えました。

#### 「木漏れ日パネル」

ところどころを薄く研磨して透光性を持たせた「木漏れ日パネル」を間仕切りとして使うのが特徴です。高さ約2.4m、幅1.2m、厚み50mmの集成材の板を、NCカッターで等高線状に削り、さらに研磨して滑らかに仕上げます。それにより薄く薄い部分を作り出し、光が透けるようにしています。

間仕切りで囲んだ小部屋を“家”、それ以外のスペースを“庭”に見立てて、くつろげる空間づくりを目指しました。パネルにはいくつか“窓”を開けて、写真などを展示できるようにしています。

この施設の魅力は、この様に、窓からの実際の景色と群馬の様々な景色が混ざり合っており、それを柔らかな自然が包んでいるというところで、これはこの場所できしか出来ない楽しい体験だと思います。



### 川越キャンパスの今後と工学祭のご案内

7期 松下吉男

川越キャンパスは大きな変革期にあります。平成21年度より、「工学部」を「理工学部」に、そして「総合情報学部」が新設されます。「理工学部」は、機械工学科、生体医工学科、電気電子情報工学科、応用化学科、都市環境デザイン学科、建築学科の6学科となります。更にこれらの学科を横断する特別教育プログラムとして、バイオ・ナノサイエンス融合コース、ロボティクスコース、地域学コースの3つのコースが副専攻として選択でき、より融合的で広がりのある学習が可能になります。「総合情報学部」は総合情報学科の1学科で情報科学系、メディア系、環境情報系、心理情報系の4つの専門系科目群があります。建築学科は定員が140名とこれまでより10名増加し、厳しい社会情勢の中今後更に発展を目指して教職員一同気持ちを新たにしております。施設面でも更に充実し、食堂・学生ホール棟（写真1：清水建設）を現食堂の北側に建設中です。また、中央広場に新棟（写真2）が近日着工されます。

今年の工学祭には「工学部連合育成会」主催のイベント（別紙）を企画しております。食堂・学生ホール棟もそのベールを脱ぎ全景がごらんいただけると思います。是非川越キャンパスに足を運ばれますようご案内いたします。



写真1：食堂・学生ホール棟（仮称・イメージ）



写真2：理工学部・総合情報学部新棟の全景（イメージ）

---

## 支部だより

---

### 徳島支部

12期 戸出敏夫

徳島支部では、支部活動として毎年お盆期間中に徳島市内で開催される「阿波踊り」に参加しています。

この度、関係する全ての方々のおかげで、我「阿波踊り東洋大学連」は、本年度で結成 20 周年を迎えることができました。さらにその 20 周年を記念して、徳島出身で、前「阿波踊り東洋大学連」連長でもあります本大学の三浦敏明名誉教授をお迎えしての記念講演会『太宰文学の世界～生きるよろこびを与えた女性、山崎富栄と太宰治』も同時に開催することができました。継続は力なりと申しますが、このように長年に亘って続けてこられたのは、大学・学生・OB・保護者・後援会等の強い結束があってこそであると、改めて再認識し感謝しています。関係者一同、これからも出来るだけ永く続けていこうと思っていますので、他支部の皆さんもどうぞお気軽にご参加下さい。心よりお待ちしております。本年度は、泉会本部から長谷部勉副会長が、また大学からは、徳島出身で「阿波踊り東洋大学連」連長の勝瀬義仁講師とゼミの学生 9 名らが参加されました。白山の学内サークル「阿波踊り愛好会」の学生を中心とした若く澁刺とした踊りはまさに圧巻です。尚、校友会徳島県支部のホームページに「阿波踊り東洋大学連」の写真がUPしてありますので、一度ご覧下さい。(ホームページアドレスは下記のとおり)  
[http://geocities.yahoo.co.jp/gl/toyo\\_toku\\_07](http://geocities.yahoo.co.jp/gl/toyo_toku_07)



---

### 神奈川支部 神泉会

10期 原崎久人

神泉会このごろ

どこの支部も同様かもしれませんが泉会神奈川支部「神泉会」は、新人の参加が見込めず悩んでいます。世間と同様、高齢化社会となり、10期の私が若手になる状況です。次世代に引き継いでいくためにも、考えていかなければなりません、解答はなかなか見つかりません。まずは日常の行動を積み重ねていこうと思います。

今回、9月28日に支部の催しとして、「歴史の街ヨコハマタウンウォッチング第2回」と謳い、横浜市庁舎耐震補強工事、象の鼻改修工事、横浜港大さん橋国際客船ターミナル(大さん橋)等を見学する予定で計画を進めていますが、相変わらず若い方の参加者があまりありません。通常の会の行動も、泉会元会長の佐藤博美さん(3期)が現在校友会の神奈川支部長ということもあり、校友会の行事にあわせて、年始の箱根駅伝応援新年会等、軒先を借りて動くことが多いです。校友会との交流により、異業種、各世代間との交わりは増えているとは思いますが。

泉会がただの親睦会にならないよう年間に1、2回は独自の催しを企画したいとは思いますが、行動がなかなか伴いません。

我々の業界のみならず、このご時勢このような会に集う余裕は時間的にも厳しいとは思いますが、こういう時こそ別の世界の人との接点が、新しい展開を生むことも有るかと思っています。めげずに会員の参加が見込めるような集まりにしていきたいと思っています。(9月19日 記)



---

## 同窓生だより

---

### 建築家兼マスター

7期 土肥 義 則

泉会 25 周年お目出とうございます。先日白山のスカイホールでは大勢の方が集まり大変盛大な会でした。私個人も地震の影響で新幹線が遅れ、やっと間に合ったという忘れられない 25 周年記念でした。

ところでなぜ新幹線かというと、栃木県的那須の自宅から向ったからです。私は平日毎日東北新幹線を使い東京駅へ行き中央線に乗換え新宿の設計事務所へ通っています。

東京生まれ東京育ちの私でしたが、6 年ほど前に越し那須暮らしをしています。自然に囲まれた生活で、さぞかし土日はのんびり出来て良いですねと言われるますが、実はカミサンが自宅で喫茶店をやっており、土日は無料奉仕のマスターに変身し、休みのない一週間を過しています。

その様な訳で、平日は優秀な(?) 建築家、土日は渋いマスターと 2 つの職業を使いこなす様になってしまいました。

そしてですね、この秋からやっと新幹線勤務が週 1 回程度に納まりましたので、なぜか本人の意思に関わらずマスター業が増えることとなりました。

これは建築家としての優秀な(??) 能力を使わずに晩年を過すことになり、惜しいことなのか有がたいことなのか、今後の評価が楽しみです。

皆さんの中である歳になったら田舎暮らしをしたいと考えている方は、那須の私の家へお寄りください、おいしいコーヒーを入れてお待ちしております。



那須の自宅兼喫茶店「風楽」  
東京の勤務先 佐沼建築事務所

---

### 居心地の良い空間を探す旅

18期 高 杉 雄 一

同窓生便りの記事の依頼を受け、さて卒業してから何年たったのだろうか？

1983 年(昭和 58 年)の 3 月に大学を卒業したのだから。。。。。

なんと 25 年もたつのである。自分ではあまり意識していなかったが、年月がたつのは早いものだ！

建築士として普段より居心地の良い空間を創るお手伝いをさせて頂いているが、建築に、のめりこむと、なかなかお金儲けはできないものです。

そういえば、在学中ある先生に、建築は面白いが、のめりこむと金にはならないぞ！ 金儲けしたいなら他のことをしたほうが良いよと言われました！しかし皆さん、世の中、お金だけで価値が図れないものもたくさんあります。

ヨーロッパでは、そのことをアメニティーというらしいですが、日本も昔は、貧しくとも、それなりに充実した生活をしていたのではないのでしょうか？

生きる充実というか、その生活環境により人の感じ方は変わるものであり、自然や歴史的文化財にふれたり、良い街並みや風景に出会い積極的に地域文化を楽しみ、近隣コミュニティとの連帯をはかり、人情・人の温かさを守られ、地域的公共サービス(教育、医療、福祉、犯罪防止など)の充実、交通の利便さなどに、価値を求める時代になっているのではないのでしょうか？

斯く言う、私も、日々悩み苦しみ、楽しみながら、バリヤフリー、ユニバーサルデザイン、景観形成、防犯・防災まちづくり、そんな言葉をキーワードに携え、仲間と共に居心地の良い空間を探す旅を続けております。

元気が一番！健康第一！楽しく仕事をしています。(°\_0°)

下記ブログ及びHPをご覧ください幸いです。

ブログ日誌「夢は空我のくま」 <http://mykit.jp/pc/sukenojo/>

埼玉県建築士事務所協会川口支部 <http://www.kawaguchi-saijikyoo.com/>

かわぐち防災ネット <http://www.kawaguchi-bousai-net.jp/>



---

## 同窓生だより

---

### 北の大地より

27期 久保 忠 春

始めまして、27期の久保と申します。ゼネコンで現場監督をしております。平成4年に卒業後福島県に2年間勤務したのち故郷の北海道へ転勤となり札幌市に住んでおります。

さて今年の北海道で注目されたことと言えば7月の洞爺湖サミットではないでしょうか。期間中の札幌市内中心部は、各国首脳が通行または宿泊するため数台のヘリコプターが上空から監視し、各都府県から応援で来られた警察の方々の警備で騒々しい様子でした。サミットでは北海道の食材を使ったおいしい料理が紹介されておりあらためて食の宝庫であると感じ、お金と時間さえあればぜひ食べ歩きをしてみたいと思ったところです。9月初旬には松下研卒論生の夏期ゼミが北海道で行われ、23期の岡野さん、32期の森平さんと私の3名が夜の懇親会に参加させていただきました。当時のエピソードや思い出話、また卒論生の方々の新鮮な会話に花を咲かせながら楽しい一時を過ごしました。現在私は全国的に有名になった旭山動物園のある旭川市で単身生活しております。この動物園で一番感激したのは北極クマのプールへの飛び込みシーンでとても迫力があり、今では見学するのに30~40分並ぶほどの人気ぶりであります。毎年新しい施設ができ人気は衰えを知らず、宿泊施設が不足しているせいかこの2年半の間で旭川市内では4件のホテルが開業または建設中であります。皆さんも機会があればぜひ来園してみてください。



後列 右から3人目が私

36期 神 田 剛

どうやら建築ってのは、一人ではつくれならしい。大学院を卒業してアトリエ系と呼ばれる設計事務所では建築家のポストと働きながら、そんな当たり前のことに気づくまでに5年もかかるとは、よほど自分は鈍感なのかも。規模の大小にかかわらず、1つの建築が出来上がるまでには実に多くの分野の人が関わってきます。クライアント、設計者、構造家、施工者、職人、メーカー、コンサルタント、デベロッパー、役所の人、各界文化人、研究者、アーティスト、光を操る人、音をみる人、緑をつかう人、家具を扱う人、パースを描く人、模型を作る人、などなど。設計者一人で全部解決しようとしても、どうしたって限界があって（そのこと自体にメゲてた時期もありましたけど）、そんなときに他分野の思いもよらないアイデアや技術、経験が「そんなの簡単だよ、こうすればいいんじゃない？」「こんな考えかたもあるよ」って補完してくれることで「ああなるほど！」と目からウロコが落ちる瞬間・パッと建築に強みと明るい未来が与えられる（大袈裟？）瞬間を感じる時が今は一番楽しいですね。そんな人たちのプロフェッショナルなパワーに触れ合ってきたことと、そうやってたくさん出てくる問題を1つ1つ解決しながら建築は出来ていくんだなあと分かってきたことは、この5年間で手にした財産かもしれません。さて、話は変わりますが東洋大学の工学部は理工学部となるそうです。理（アイデアや真実の探求）と工（技術や経験）が隣り合わせで高め合える「いいとこどり」の新しいものづくり教育がスタートすると思うと嬉しくなります。理工に加えて「文」や「芸」の人たちも取り込んだ総合的な勉強ができる場になっていくと最高ですね。学生時代もうちょっとだけ真面目に勉強しとけばよかったかなァと思いながら大学の時のテキストをめくって仕事をしている設計者が、ここに一人います。



---

## 同窓生だより

---

1年 江口 紗月

私は今年の4月に工学部の建築学科へ入学しました。学校へ入学して半年経った雑感をまとめてみたいと思います。

栃木の実家から通っているので、毎朝5時に起き、3時間かけてやっと学校に着きます。

そんな通学に時間がかかるにも関わらず、私は今、部活動と委員会に入っています。

裏方の仕事をするのが好きなので、真っ先に手をあげて自ら自治会に入りました。自治会の活動自体は目立ちませんが、先輩方と話し合いながら活動を進めています。

部活動は「人力飛行機を大空へ飛ばす会」に入っています。

テレビで放送している「鳥人間コンテスト」に憧れてすぐにこの部活に入りました。活動を通して飛行機の仕組みについて知っていくことや、同じ志を持つ先輩方と交流を深めていくことができるのは嬉しいです。いつか私達の飛行機も琵琶湖の大空を羽ばたけるように頑張っていきたいと思っています。

そんな毎日に追われて帰宅すると深夜になることもあります。友達には「大変だね」とか「あり得ない」などと言われますが、私は苦だとは思いません。なぜなら今自分のやりたい事を精一杯やっているからです。そして何より一番やりたかった建築の勉強ができるからです。建物の設計の勉強をするのはもちろん、構造や環境など触れたことのない分野の勉強ができて、とても楽しいです。

これからも建築についてもっと勉強し、体験して、友達と建築の議論を交わせるくらいに成長していきたいです。そして何よりも今始まった大学生活の四年間をより充実したものにしていきたいと思っています。



---

## 二年生に進級して

2年 中田 渉

二年生に進級して、建築をより深く学ぶ授業が増えてきて、益々、建築に対する思いが強くなってきました。この強くなった思いを何かに活かすことはできないかと思い、友人と共に建築パーティーのスタッフになりました。パーティーでは実際に働いている建築家の方を招待するので、その手配から、パーティーの宣伝広告の作成や会場の設置、当日の運営などすべてを自分たちスタッフで行いました。力の及ばない部分では、先生方や先輩方にも大変お世話になりました。私はパソコンなどを使って広告の作成をしました。当日までの限られた時間の中での準備や当日の運営などで、たくさんの苦難や問題があって正直とても大変でした。しかし、みんなで力を合わせて何かを成し遂げることの大切さや苦難を乗り越えたり、問題を解決する力を身に付けられたと感じています。楽しいことばかりではありませんでしたが、この経験は大学生活においてとても価値のあるものであったと思います。

秋学期も建築パーティーを行う予定なので、前回の問題点を克服して次に臨めたらと思います。また、本業である学業の方もより一層力を入れて頑張っていきたいと思っています。





---

## 同窓生だより

---

3年 三浦大樹

東洋大学建築学科に入ったときは、ただ建築物が好きだったということだったが、実際に建築学科に入ってみると、建築には様々な分野があることを知った。工業高校出身だったわけではないので、自分がどのようなことをしたいのか迷ってしまった。なので、大学1、2年の時はできるだけ多くの分野の教科書を履修して、興味のあることを見つけようと考えた。しかし、毎学期フル単位履修したことで、毎日2時間かけての通学、授業、深夜バイト、課題の繰り返しで、健康面、趣味等で自由な時間がないことが大変だった。

設計製図の授業は楽しかった。実際に自分でアンを考え、模型として形にする。楽しい反面とても時間がかかる作業で、泊まりで作業しなければならないのが毎回のことでした。授業の一環や課題などで建築現場見学や多くの建築物を見に行くことができたのは、とても貴重な経験だった。1年のときに必修の環境工学基礎を落とし、再履修してしまったが、そのおかげで結構理解できるようになり、環境系はそんなに成績が悪くなかった。

2年の時に倒れて病院に行ったり、偏頭痛を持つようになったりと健康面で不安を持つようになったが、1、2年の間はかなり頑張った方なので3年の春学期が終わった今、単位の方はけっこう取れていて余裕があるため、今学期からはあまり無理をしなくてすみそうだ。これからは、就職活動等、授業以外のことにも時間を費やせそうだ。



---

## 大学生活を振り返って

建築学科4年 武者映良

大学入学当時は、初の独り暮らしということもあり不安も多くありました。しかし入学してしまえばあっという間に4年生になっていたように思います。現在は、松下先生の研究室のゼミに所属しておりRC造の構造について勉強しています。

プレゼミとして活動をする前は、私は先生と接する機会が少なく、ただRCの構造を学びたいという理由で研究室を選びました。プレゼミ生はみんな初対面や話したことのない人達が多かったのです。先生は人と人とのつながりをとても大事にする先生で、懇親会なども多く開いてくれたりと、学生のことをとても大切にしてくれる先生だなあと感じました。プレゼミに入り、最初の活動として工学祭に展示するために空気膜のドームをプレゼミ生で製作し、空気膜ドームを作るという共通の目的を持って作業していくうちに徐々に仲良くなっていきました。

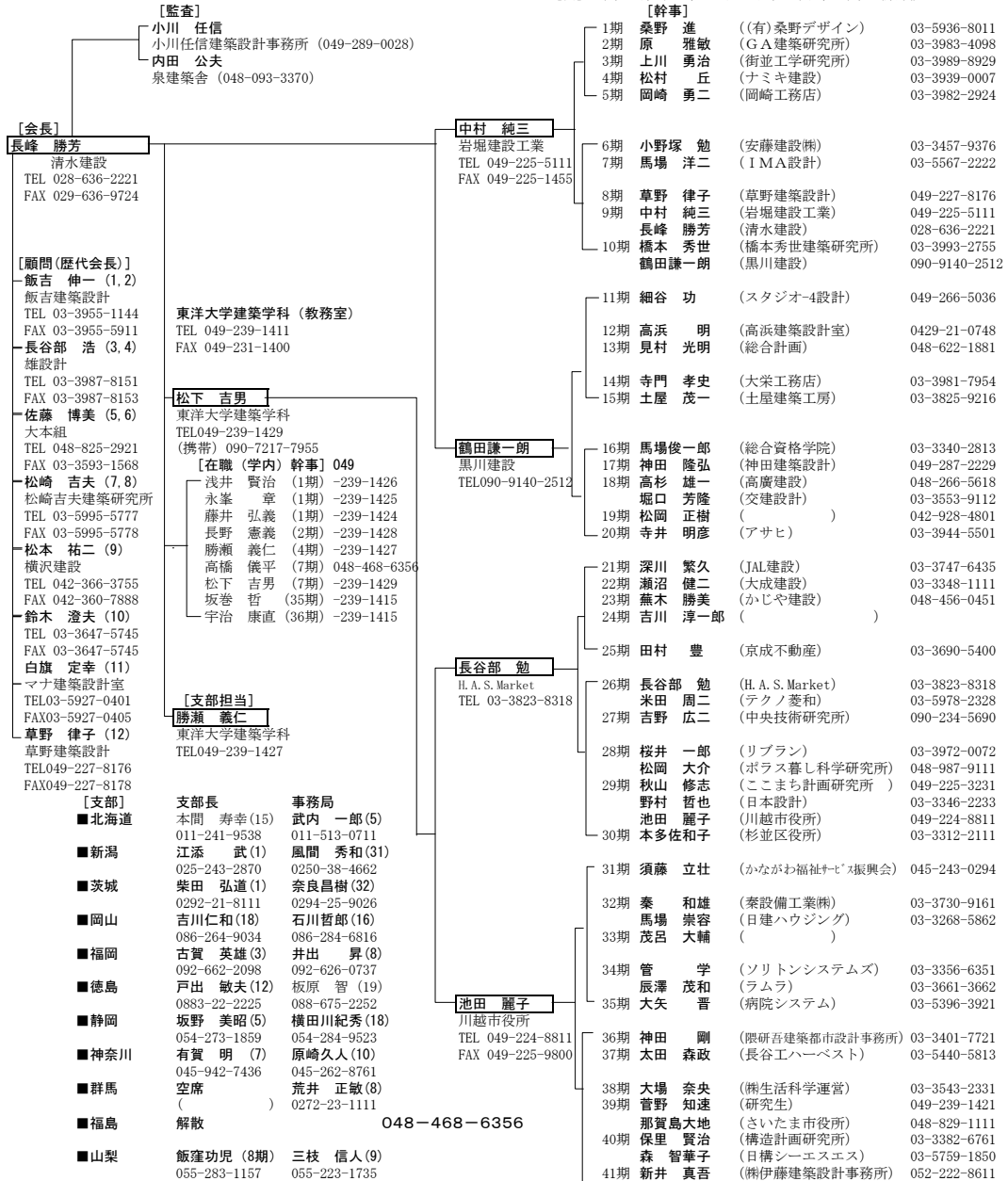
プレゼミからゼミとなり、先日にはゼミ旅行で北海道に行ってきました。先生のご紹介で建築学科のOBの方との食事会を開いていただきました。日本都市設計の相談役でいらっしゃる1期生の武部實さんとの食事会ではとても高いフルコースをご馳走していただき、カニや刺身など今まで食べたことがないような料理の数々に驚きを隠せませんでした。武部さんには人生におけるアドバイスとして、『三年に一度人生プログラムを見直す』というお言葉を頂きました。何をやるにしても自分を見直すということが重要で、本当に自分はこの道を進んでいいのだろうか、こっちの道の方がより良いのではないかと、というようにどんどんプログラムを換えることで自分を高めるのだそうです。進んでいる道が順調ならそのまま努力し続けられれば良いし、とにかく見直すということが人生を楽しむということにおいて大切なことであるということでした。武部さんにはこのようにおいしい料理や人生のアドバイスもいただき、松下研究室一同とても感謝しています。大変ありがとうございました。

このゼミ旅行を通じてゼミの仲間ともさらに仲良くなりました。プレゼミとして配属されたときには、まさかこんなに大勢の人と関わったり、仲良くなれるとは思わなかったのですが、改めて人と人とのつながりの大切さというものを知ったような気がします。それはもう完全に先生のおかげです。もうすぐ私たちは卒業しますが、松下研究室で勉強したことや、知り合った人達とのつながりというものを大事にし、社会人として生かしていけたらいいなと思います。



<泉会> 役員組織図 第13期 (幹事会メンバー：委任可)

緊急な連絡は5期ごとの連絡網をお願いします。 2008.09.10  
 [例] 中村→桑野→原→上川→松村→岡崎→中村 (期順)



**[三役員]**

役職	氏名	担当業務
会長	長峰 勝芳	総括・総務
副会長	鶴田謙一朗 長谷部 勉	広報・企画
財務	池田 麗子 松下吉男 坂巻 哲	財務

**[監査]**  
 小川 任信  
 内田 公夫  
 会計監査

**[業務活動担当者]**

総務	二役	在職担当幹事
総会	全役員	勝瀬義仁 宇治 康直
幹事会	全役員	浅井賢治, 坂巻 哲
名簿	松下, 坂巻	宇治 康直
HP	長谷部 勉	長野憲義
就職	全役員	永峯 章
寄附講座	全役員	藤井弘義
支部	長峰 勝芳	勝瀬義仁
		永峯 章
企画・広報	中村 純三 鶴田謙一朗 池田 麗子	
財務	松下吉男 宇治 康直	松下吉男 坂巻 哲

**[連絡方法と幹事の業務]**

1. 幹事会及び支部交流会の連絡方法は原則として事務局より FAXで連絡し、出欠の確認をする。
2. 平成19年度は総会を11月に行ったが、20年度より6月に戻す。
3. 三役員は各受持ちの幹事全員と相互に連絡をとる。
4. 各期の幹事は卒業生への連絡を行う。
5. 各期の幹事は連絡責任者として、同期の卒業生の住所等の把握、印刷物の発行の協力、会費の納入状況の把握と徴収の協力を行う。
6. 幹事は会報の"同窓生だより"執筆者を選考し原稿の依頼をする。

## ジャパンホームショー 2008

サステナブル建築技術展 2008


11月12日～14日 東京ビックサイト  
東2ホール No.41ブースにて

地球に感謝、木に感謝、人に感謝

自然からの贈り物、体に優しい木のある暮らし をテーマに  
ムクフローリング、木質建材の展示を行います。

ご興味のある方は是非、おいで下さい。

また招待券も用意してありますので、ご一報下さい。

一門一家の繁栄のために神棚を祀ろう!!  
 **クボデラ** 有限会社  
社寺用材・堅木材・南洋材問屋

代表取締役社長 **窪寺 伸浩**  
(文学部哲学科S59年卒)

本社 〒165-0025 東京都中野区沼袋4-27-15 E-MAIL: info@kubodera.jp  
TEL (3386)1153  
FAX (3386)1165  
相模原 〒229-1124 相模原市田名塩田3-11-8 TEL 042(778)7010  
販売所 ナイス㈱センター内 FAX 042(778)7015  
首都圏 〒336-0034 さいたま市南区内谷3-15-16 TEL 048(845)7255  
サービスセンター FAX 048(845)7256



子どもたちに  
誇れる  
しごとを。

SHIMIZU CORPORATION  
**清水建設**

## 平成 20 年度工学部連合育成会活動計画

I 役員改選及び大会 (6月に実施済)

II 在学生支援

1. 特別講座

総合D: 春学期月曜1時限 2101教室 テーマ「安全・安心の社会をめざして」

総合E: 秋学期金曜1時限 2202教室 テーマ「プロフェッショナルへの道」

2. 就職イベント 3. 企業見学バスツアー 4. 在学生イベント

5. 優秀卒業研究及び学生生活功労賞の表彰

III 卒業生のサポート体制

1. 各学科同窓会への協力及び再構築支援 2. データベースの構築と卒業生支援活動

3. 産学連携活動の情報提供 4. 会員特別功労賞の表彰

IV 東洋大学交友会との連携

# 平成20年度 1級建築士 学科試験

**関東圏1都6県合格者占有率** 1都6県合格者 3,409名中 **1,767名**  
 (1都6県=東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・群馬県・栃木県)

他講習  
利用者  
+  
独学者  
**当学院  
受講生**

1都6県の合格者の2人に1人以上は、  
当学院の受講生です。

**51.8%**



9月10日 16:00現在  
 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者は一切含まれておりません。

**宣言**  
**新建築士試験  
 完全対応**

総合資格学院は、平成21年度より実施される  
 新1級建築士試験に完全対応します。  
 抜群の合格実績を誇る当学院で  
 1級建築士試験合格を勝ち取ってください!!

開講講座

1級建築士	2級建築士
宅地建物取引主任者	1級建築施工管理技士

教育訓練給付制度対象講座あり 詳細は下記までお気軽にお問合せください。

公共工事および重要な民間工事には専任で配置される  
 監理技術者が必須です。

**『監理技術者講習』**

国土交通大臣登録講習実施機関 登録番号第7号

**講習受付中**  
 新規 / 更新 (講習有効期間5年)

株式会社 **総合資格**

受講料 **10,500円** [教材費・  
 修了証交付手数料・  
 消費税込]

# 総合資格学院

- |                     |                      |                      |                       |                      |
|---------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|
| 新宿校 TEL03-3366-2181 | 上野校 TEL03-3832-7201  | 池袋校 TEL03-3982-8211  | 五反田校 TEL03-3495-8671  | 吉祥寺校 TEL0422-23-6011 |
| 立川校 TEL042-524-7841 | 町田校 TEL042-724-3061  | 川崎校 TEL044-850-3411  | 横浜校 TEL045-316-6811   | 厚木校 TEL046-297-0511  |
| 藤沢校 TEL0466-55-2611 | 宇都宮校 TEL028-614-4881 | 前橋校 TEL027-290-2311  | さいたま校 TEL048-642-9811 | 越谷校 TEL048-990-6971  |
| 所沢校 TEL04-2997-2400 | 川越校 TEL049-291-5211  | 熊谷校 TEL048-599-3531  | 船橋校 TEL047-425-8941   | 千葉校 TEL043-290-7341  |
| 松戸校 TEL047-369-3821 | 柏校 TEL04-7168-9111   | つくば校 TEL029-860-3771 | 水戸校 TEL029-300-4721   |                      |